

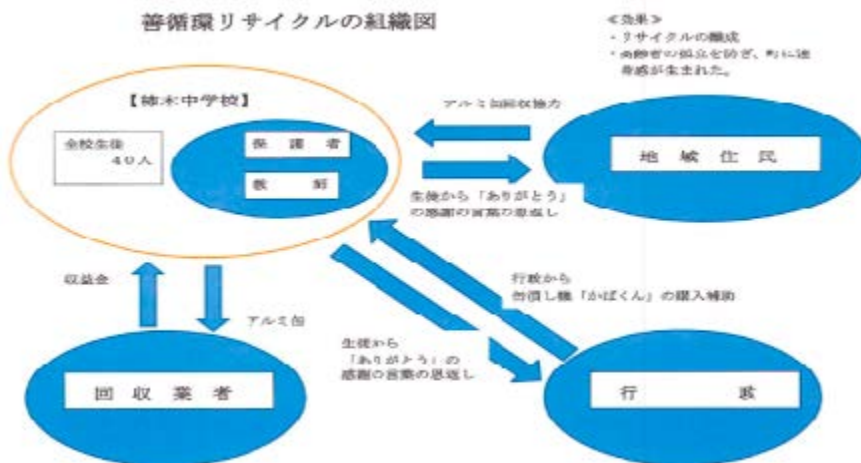
文部科学大臣賞 「個人・グループ・学校」分野	受賞者名
	吉賀町立柿木中学校
	所在地
	島根県鹿足郡吉賀町
	受賞テーマ
	全校生徒 40 人！生徒一人あたりの回収量は 100kg 越え！ ～善循環リサイクルに感謝の心～

(1) どのような 3R 活動か

この活動は、校区内の環境美化を生徒と保護者が一緒になって取り組もうするところから元々スタートした。約 10 年前、開始当初、同地域には行政による分別回収があった。そこで、PTA からその回収も生徒と保護者が一緒になってやってみてはという提案が出された。結果として収益が入り、学校の教育活動にも資することが出来るようになった。

(2) 取組のポイント、特長

学校・地域住民・行政・回収業者が一体となり取り組んでいる。特に過疎化が進んでいるのが現状であるが、リサイクルの声掛け訪問により孤立化を防げるようになり善循環リサイクルの輪ができた。



(3) 他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ

全校生徒 40 人しかない生徒の中で 6 つの委員会毎に分けられ、担当顧問の先生と月曜日から金曜日の給食後の 15 分間、空き缶潰し、袋入れ作業に従事する。当番のある日は、給食後の昼休みはない。雨の日も、雪の日も、一切の例外なく担当の先生と一緒に、作業をする。潰しては袋に入れ、また潰しては袋に入れるという単純作業であるが目標を定め目標達成のために一丸となり取り組んでいる。

また、生徒一人一人が一人 20 軒以上訪問してネットを配りアルミ缶を回収している。【写真一番左】



生徒が地域の方のお宅に 1 軒 1 軒訪問し、アルミ缶を入れるネットを渡している



生徒と担当教諭で昼休みにアルミ缶を潰す作業(雨の日も雪の日も作業を行う)



缶潰し機(かばくん)にアルミ缶を入れて缶を潰す



潰した缶をトン袋に入れている作業

(4) 今後の予定：“善循環のサイクル”の一環としての生徒活動と地域の協力を吉賀町の輪としてより一層深めていこうとしている。この活動を通して、在校生は勿論、入学してくる新入生も含め生徒の心の中に“感謝”の思いを醸成していこうとしている。